



新潟大学
旭町学術資料展示館
Niigata University Asahimachi Museum

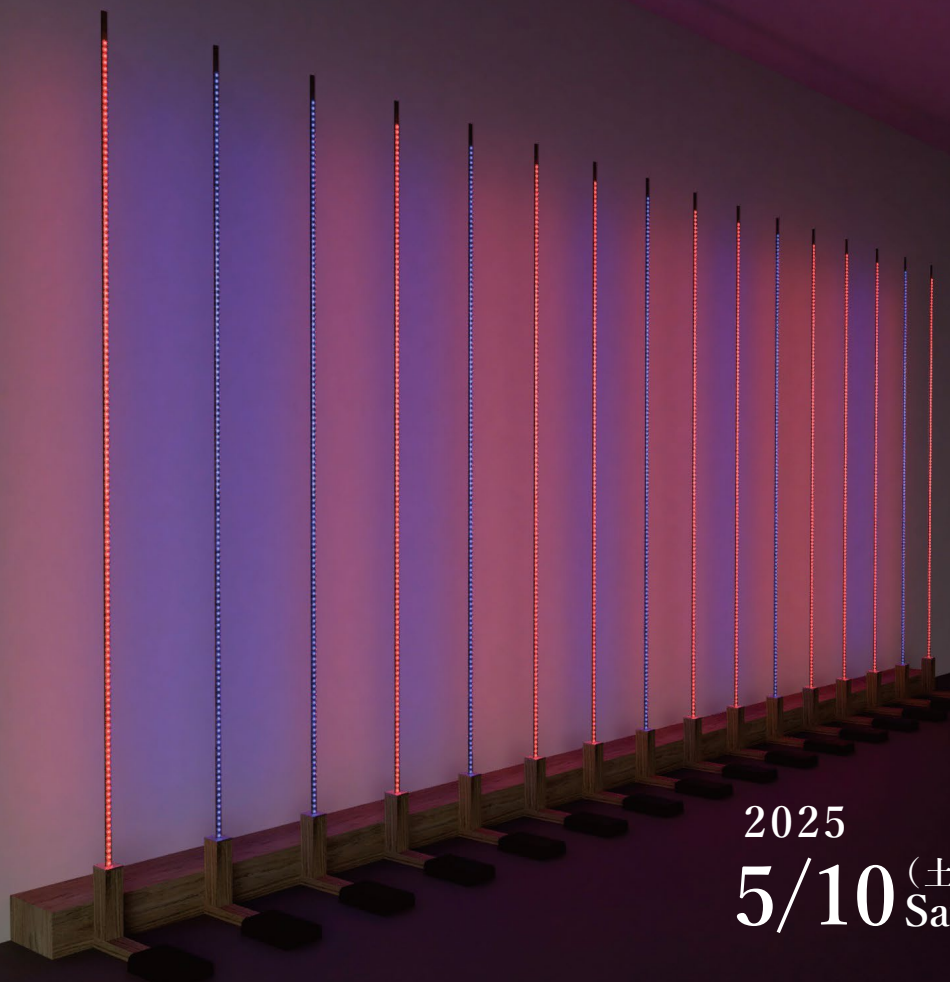


Material 「灯り」展

From the Hashimoto Laboratory

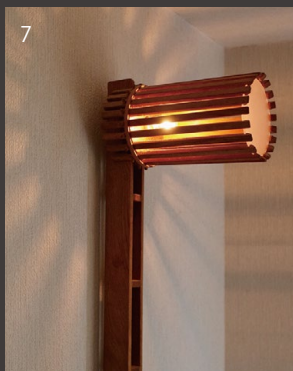
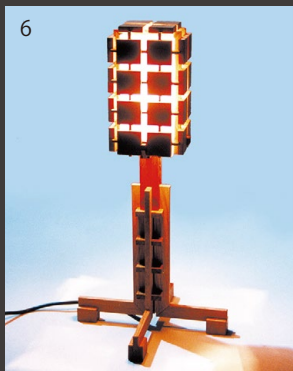
新潟大学 橋本研究室では、工学技術を用いた
芸術表現活動を積み上げてきました。

本展覧会では、マイコン制御にて
時間軸で変化させた光源を用いた
インスタレーション作品や
光と影をテーマとしたプロダクトで構成します。



2025

5/10^(土)Sat ▶ 7/5^(土)Sat



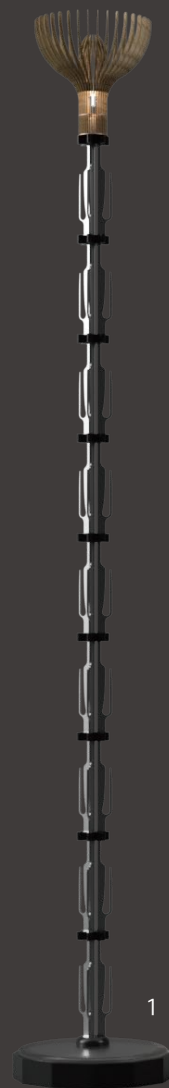
展示作品

「Carnatio」Floor stand	橋本 学	【写真1・表上】
「Carnatio」Table stand	橋本 学	【写真2】
「揺らぎ」	加藤 七菜 (橋本ゼミ大学院1年生)	【写真3】
「蝶」	山浦 仲 (橋本ゼミ4年生)	【写真4】
Table stand-1	橋本 学	【写真5】
Table stand-2	橋本 学	【写真6】
「Slit light」	橋本 学	【写真7】
「光のインタラクション」	橋本 学・佐藤 佳奈 (橋本ゼミ大学院1年生)	【写真表下】

自然環境においては、日が昇り沈む過程での光の波長の変化や、昼夜の明るさによって多様な景観が映し出されます。例えば木漏れ日や夕焼けなど、時間の経過に伴って変化する光の風景はとても魅力的です。橋本ゼミでは、こうした現象を工学的な制御技術を駆使して表現に繋げ、作品として具現化することに取り組んできました。また、時代の変遷に伴い、生活空間で使われる光源の素材も大きく変化しました。教材の

面では、パソコンの普及やLED素材の発展、プログラミング教材として広く利用されている手頃な価格の小型マイコン(Arduino)の存在が挙げられます。工学技術と芸術表現の融合の可能性を探索する中で、光を用いた時間軸に沿った表現の可能性について実社会での展開を目指し、インタラクティブな要素や鑑賞者と作品との関係性を考慮しながら、学生とともにデザイン設計や制御方法を検討しています。

科学とアートが織りなす、光の物語



橋本 学 HASHIMOTO Manabu

略歴

新潟大学人文社会科学系教授

【担当学部】工学部人間支援感性科学プログラム・教育学部美術科

【研究分野】用と美との融合表現、芸術工学、商用デザイン

研究活動は、地域と連携したアートプロジェクトの実践に主軸を置き、地域の子どもの表現をサポートする造形ワークショップや、工学技術を用いた時間軸で変化する空間造形作品を発表しています。主な出展は、「大地の芸術祭」、「水と土の芸術祭」、「喜多方・夢アートプロジェクト」、「アートクロッシングにいがた」等です。デザインワークとしては校章デザイン、企業ロゴマーク、日本酒のパッケージデザイン等を手掛け、それらデザイン的な思考を授業内外で展開しています。



作者によるギャラリートーク

5月10日(土)・5月24日(土)・6月7日(土)・6月21日(土) 13:30~14:30/申込不要



新潟大学 旭町学術資料展示館

Niigata University Asahimachi Museum

〒951-8122 新潟市中央区旭町通2番町746 TEL.025-227-2260
2-746 Asahimachi-dori Chuo-ku Niigata

開館時間: 10:00~12:00, 13:00~16:30

休館日: 日・月曜日

入館料: 無料 駐車場: 5台

Hours: 10:00am-12:00pm, 1:00pm-4:30pm

Closed: Sundays and Mondays / Admission free



真の強さを学ぶ。

新潟大学
NIIGATA UNIVERSITY



<https://www.lib.niigata-u.ac.jp/tenjikan/>



リサイクル適性(A)
この印刷物は、印刷用の紙へリサイクルできます。